安城市雨水マスタープラン策定審議会

中間評価

【第１回】

令和7年7月30日

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市雨水マスタープランの中間評価

１．第２次安城市雨水マスタープランについて

第１章　はじめに（p.1～p.3）

雨水マスタープランとは

第２章　安城市における雨水対策の課題（p.4～p.26）

取組状況、市民アンケート、浸水リスクの検証結果に基づく課題を記載

第３章　これから目指す雨水対策の方向性（p.27～p.31）

雨水対策の理念、基本方針、段階的な雨水対策の目標などを記載

第４章　施策の取組内容（実績）（p.32～p.41）

行政・市民・事業者における今後の雨水対策に関わる取組内容を記載

第５章　計画の運用（p.42）

雨水マスタープランの運用イメージを記載

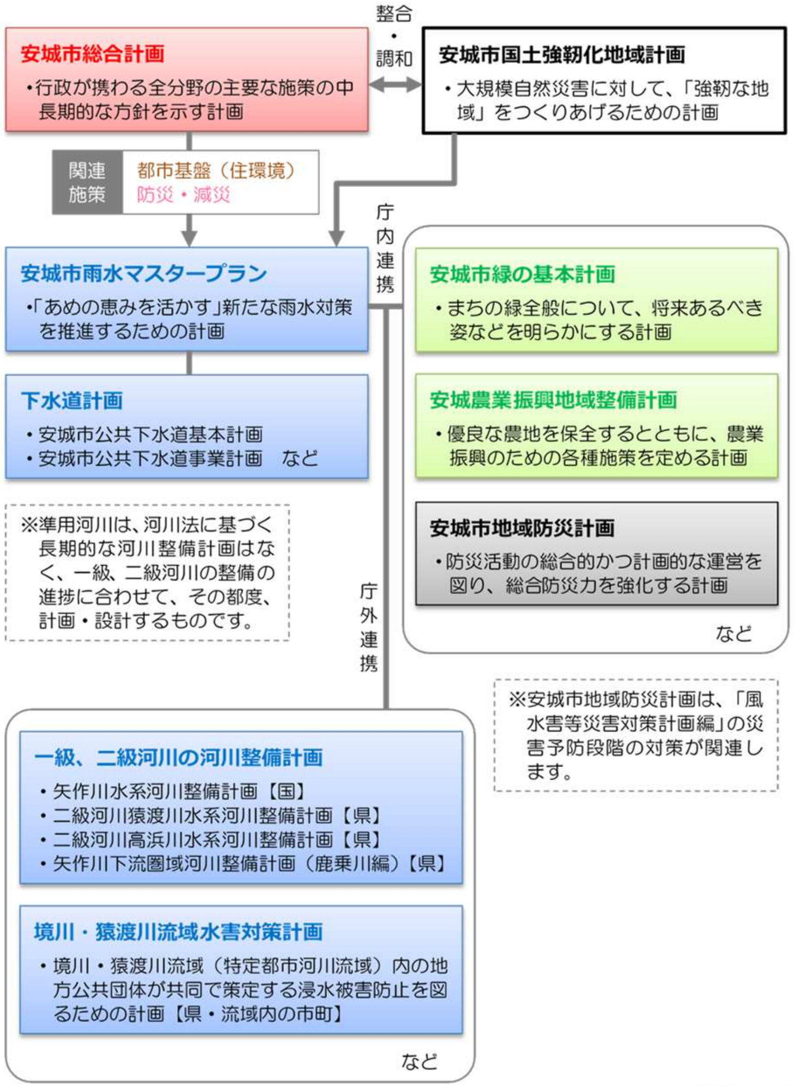
２．第２次安城市雨水マスタープランの見直しについて

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

雨水マスタープランの位置づけ

- 平成２０年８月末豪雨による被害を契機として、より水害に強いまちづくりの実現に向けて、市民、事業者及び行政が協働して取り組むべき雨水対策の方向性を示したもの
- 総合計画及び国土強靭化地域計画に基づく個別計画の一つであり、市が定める他の個別計画や国・県が定める河川整備計画などと連携を示したもの



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市雨水マスタープランの策定経緯

時期	内容
平成12年 9月	東海豪雨 ・時間雨量最大：57mm/hr ・床上浸水：42戸、床下浸水：159戸
平成13年３月	**内水対策総合計画策定**
平成20年 8月	平成20年8月末豪雨 ・時間最大雨量：77mm/hr ・床上浸水：15戸、床下浸水：72戸
平成23年 3月	**安城市雨水マスタープラン策定** **・計画期間：2011～2020（H23～R2）年度**
令和3年 3月	**第2次安城市雨水マスタープラン策定** **・計画期間：2021～2030（R3～R12）年度**

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

1章　安城市雨水マスタープランとは

安城市　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

マスタープランの策定時の降雨状況

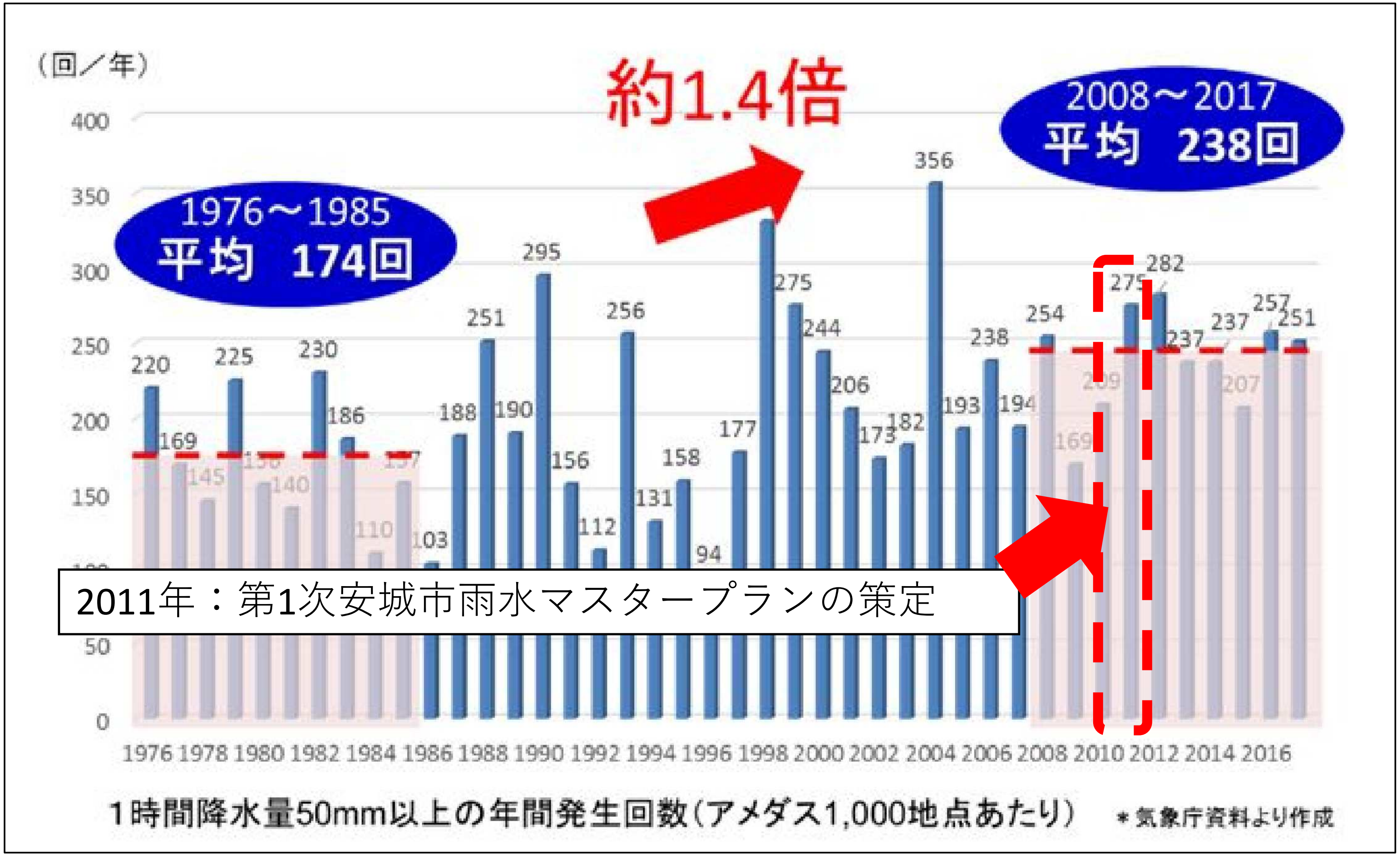


図　1時間降水量**50mm**以上の年間発生回数
（アメダス1,000地点あたり）　出典：国土交通省HP

１章　安城市雨水マスタープランとは

安城市　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

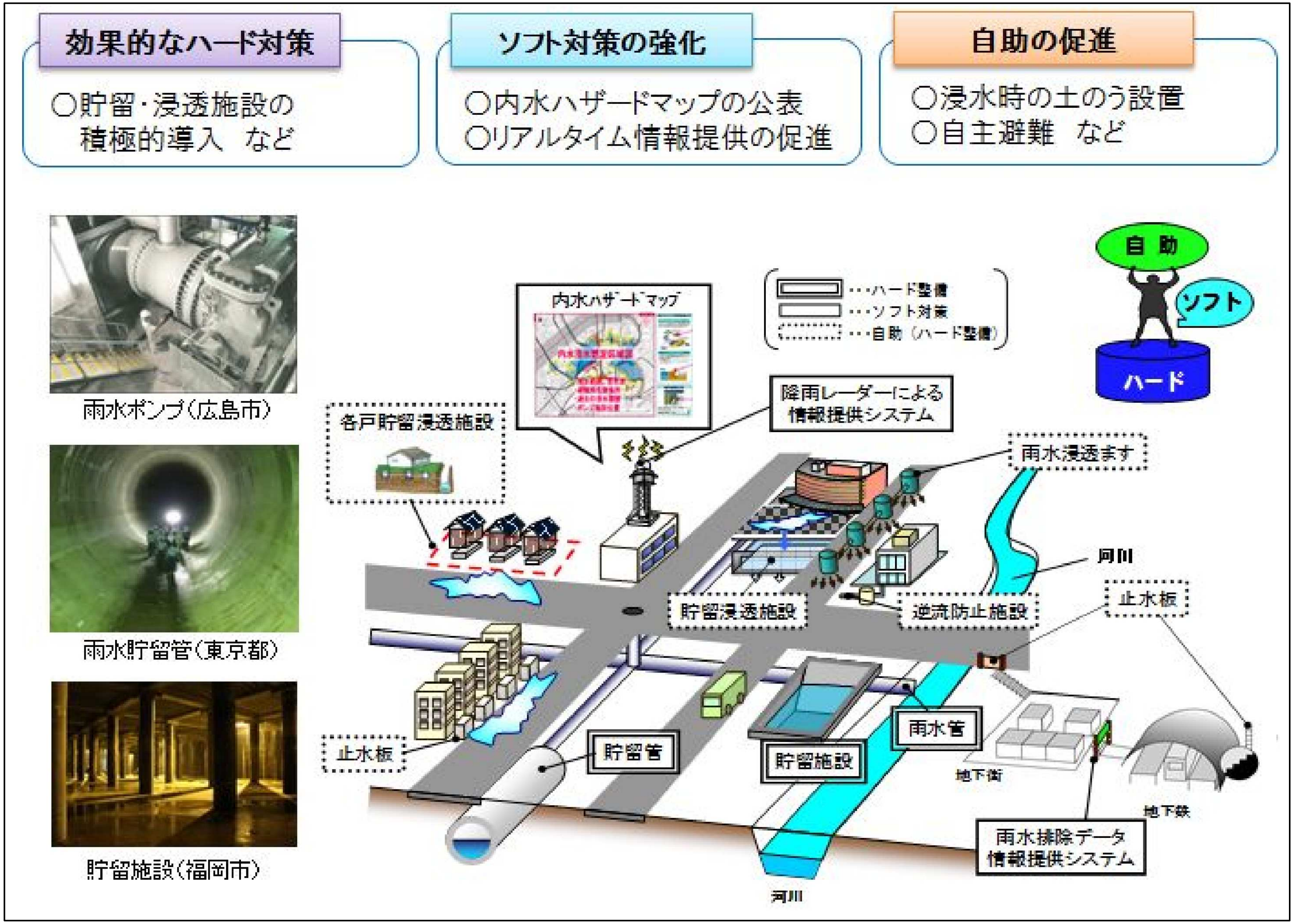


図　下水道による総合的な浸水対策のイメージ（出典：国土交通省HP）

２章　安城市における雨水対策の課題

①一級、二級河川の継続的な整備

②抜本的な整備に着手できない準用河川の浚渫の強化
（既存ストックの活用）

③下水道計画に位置付けられる調整池の継続的な整備

④市民・事業者による雨水流出抑制施設の設置促進

⑤多大な保水機能を有する農地の保全と水田貯留の更なる推進

⑥新たな緑化（グリーンインフラ）による雨水流出抑制の推進

⑦“学び備える”施策の強化

⑧浸水リスクが高い「追田排水区」、「勢井前第一排水区」、「大山田第一排水区」における重点的な浸水対策の実施

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市 Anjo
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【理念】

あめの恵みを活かす安城

　あめを速やかに“流す”治水対策だけでなく、あめを水資源として捉え、雨水を“浸透させる”ことで地下水の涵養や河川流量の維持（渇水対策）に活かす、雨水を“貯める”ことで貯めた雨水を散水や防災用水として“使う”ことを推進。
（第１次の理念を継承）

【基本方針】

市民、事業者及び行政が協働して、あまみずを水資源として捉え、さらに防災・減災の視点を取り入れた雨水対策を推進する。

　水防災意識社会再構築ビジョンの実現に向けて、“防災”だけでなく、“減災”の視点を追加

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【新たな施策体系】

「グリーンインフラの推進」に
「⑯公共施設の緑化の推進」及び
「⑰民有地の緑化の推進」を追加

「防災対策の推進」に
「㉗防災教育の推進」を追加

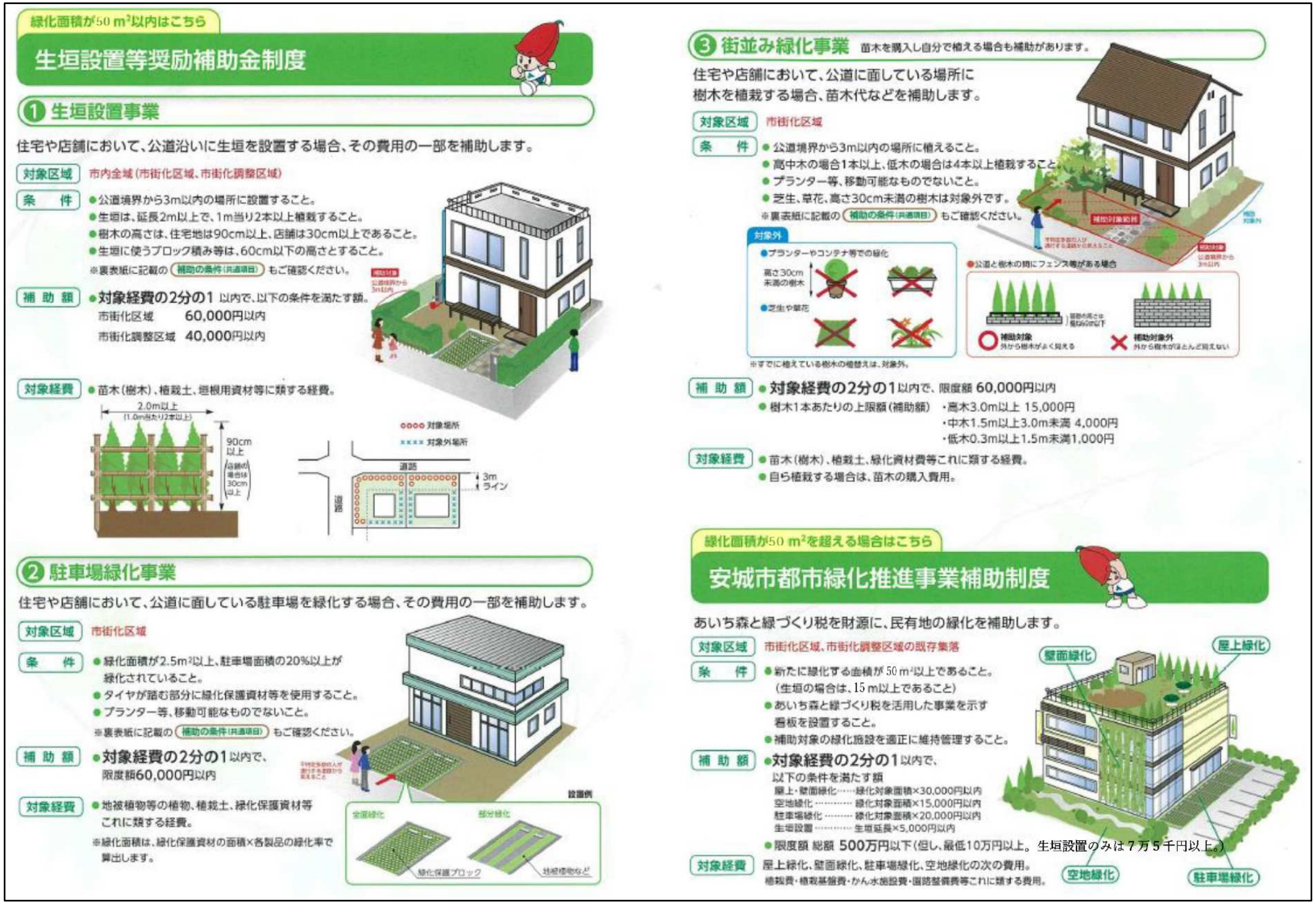
Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市 | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【新たな浸水対策】

⑰安城市緑の基本計画と連携した「民有地の緑化の推進」



緑化面積が50 m²以内はこちら

生垣設置等奨励補助金制度

①生垣設置事業

住宅や店舗において、公道沿いに生垣を設置する場合、その費用の一部を補助します。

対象区域　市内全域（市街化区域、市街化調整区域）

条件
- 公道境界から3m以内の場所に設置すること。
- 生垣は、延長2m以上で、1m当り2本以上植栽すること。
- 樹木の高さは、住宅地は90cm以上、店舗は30cm以上であること。
- 生垣に使うブロック積み等は、60cm以下の高さとすること。

※裏表紙に記載の（補助の条件（共通項目））もご確認ください。

補助額
- 対象経費の2分の1 以内で、以下の条件を満たす額。

市街化区域　60,000円以内
市街化調整区域　40,000円以内

対象経費
- 苗木（樹木）、植栽土、垣根用資材等に類する経費。

②駐車場緑化事業

住宅や店舗において、公道に面している駐車場を緑化する場合、その費用の一部を補助します。

対象区域　市街化区域

条件
- 緑化面積が2.5m²以上、駐車場面積の20%以上が緑化されていること。
- タイヤが踏む部分に緑化保護資材等を使用すること。
- プランター等、移動可能なものでないこと。

※裏表紙に記載の（補助の条件（共通項目））もご確認ください。

補助額
- 対象経費の2分の1 以内で、限度額60,000円以内

対象経費
- 地被植物等の植物、植栽土、緑化保護資材等これに類する経費。

※緑化面積は、緑化保護資材の面積×各製品の緑化率で算出します。

③街並み緑化事業　苗木を購入し自分で植える場合も補助があります。

住宅や店舗において、公道に面している場所に樹木を植栽する場合、苗木代などを補助します。

対象区域　市街化区域

条件
- 公道境界から3m以内の場所に植えること。
- 高中木の場合1本以上、低木の場合は4本以上植栽すること。
- プランター等、移動可能なものでないこと。
- 芝生、草花、高さ30cm未満の樹木は対象外です。

※裏表紙に記載の（補助の条件（共通項目））もご確認ください。

※すでに植えている樹木の植替えは、対象外。

補助額
- 対象経費の2分の1以内で、限度額 60,000円以内
- 樹木1本あたりの上限額（補助額）　・高木3.0m以上 15,000円　・中木1.5m以上3.0m未満 4,000円　・低木0.3m以上1.5m未満1,000円

対象経費
- 苗木（樹木）、植栽土、緑化資材費等これに類する経費。
- 自ら植栽する場合は、苗木の購入費用。

緑化面積が50 m²を超える場合はこちら

安城市都市緑化推進事業補助制度

あいち森と緑づくり税を財源に、民有地の緑化を補助します。

対象区域　市街化区域、市街化調整区域の既存集落

条件
- 新たに緑化する面積が 50 m²以上であること。（生垣の場合は、15 m以上であること）
- あいち森と緑づくり税を活用した事業を示す看板を設置すること。
- 補助対象の緑化施設を適正に維持管理すること。

補助額
- 対象経費の2分の1以内で、以下の条件を満たす額

屋上・壁面緑化……緑化対象面積×30,000円以内
空地緑化…………緑化対象面積×15,000円以内
駐車場緑化………緑化対象面積×20,000円以内
生垣設置…………生垣延長×5,000円以内

- 限度額 総額 500万円以下（但し、最低10万円以上。生垣設置のみは７万５千円以上。）

対象経費　屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化、空地緑化の次の費用。
植栽費・植栽基盤費・かん水施設費・園路整備費等これに類する費用。

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【新たな浸水対策】

㉗防災教育の推進

●小中学校での水害に対する防災教育の実施

VR映像を用いた疑似浸水体験

VRゴーグルの視界映像イメージ
※右の写真は実際の災害時の物

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【段階的な対策の目標】

①平成２０年８月末豪雨と同等の豪雨に対し、今後５年間で家屋の床上浸水を解消し、今後１０年間で床下浸水を解消する。

主体		雨水対策の内容	雨水流出抑制量（m^3）	
			令和７年度まで	令和１２年度まで
行　政	河川事業者	河川整備計画に基づき、計画降雨に対する河川の整備を行う。	―	―
	下水道事業者	下水道計画に基づき、計画降雨に対する雨水管渠や調整池の整備を行う。	１，５００	７，９００
	その他	公共施設において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。	１５，４００	６７，５００
事業者		民間施設において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。		
市　民		私有地において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。		

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【段階的な対策の目標】

②水防法に準拠した「想定し得る最大規模」の降雨により大規模水害が発生しても死者を出さない（逃げ遅れゼロ）。

主体	雨水対策の内容	手作りハザードマップ整備地区数	
		令和７年度まで	令和１２年度まで
行政／市民	想定し得る最大規模の浸水想定区域（浸水深５０cm以上）において、手作りハザードマップの整備を行う。	４０地区	６３地区

・想定し得る最大規模＝１０００年確率規模以上
・令和　７年度までに５ｍ以上の浸水想定区域における整備を完了
・令和１２年度までに５ｍ未満の浸水想定区域における整備を完了

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

①一級、二級河川の継続的な整備

・一級河川鹿乗川、二級河川長田川、二級河川半場川にて
　河道拡幅を実施中（愛知県主体）

例）鹿乗川の拡幅工事写真（小川町）

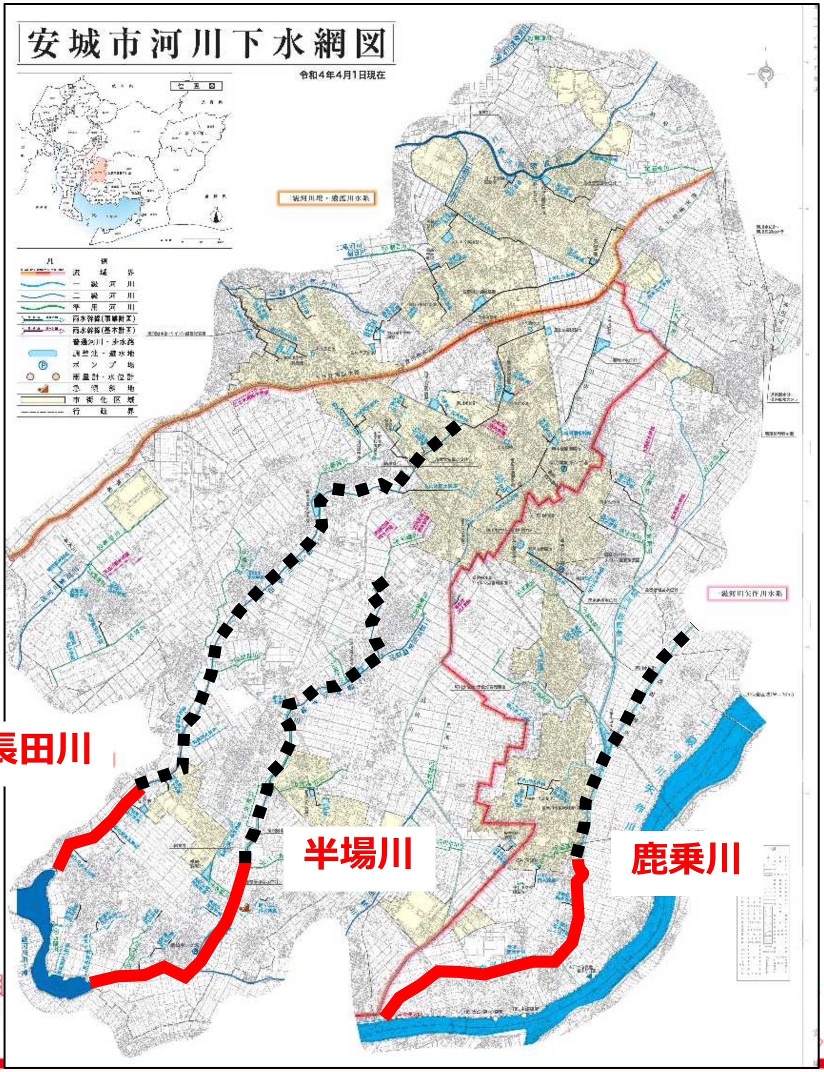
→愛知県に対し、今後も継続して事業促進を要望します。

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

4章　施策の取組み内容（実績）

【課題に対する取組み状況】

①一級、二級河川の継続的な整備



左図：河道拡幅の進捗状況

■■■■■■■■ 拡幅予定区間

━━━━━ 拡幅済区間

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

４章　施策の取組み内容（実績）

【課題に対する取組み状況】

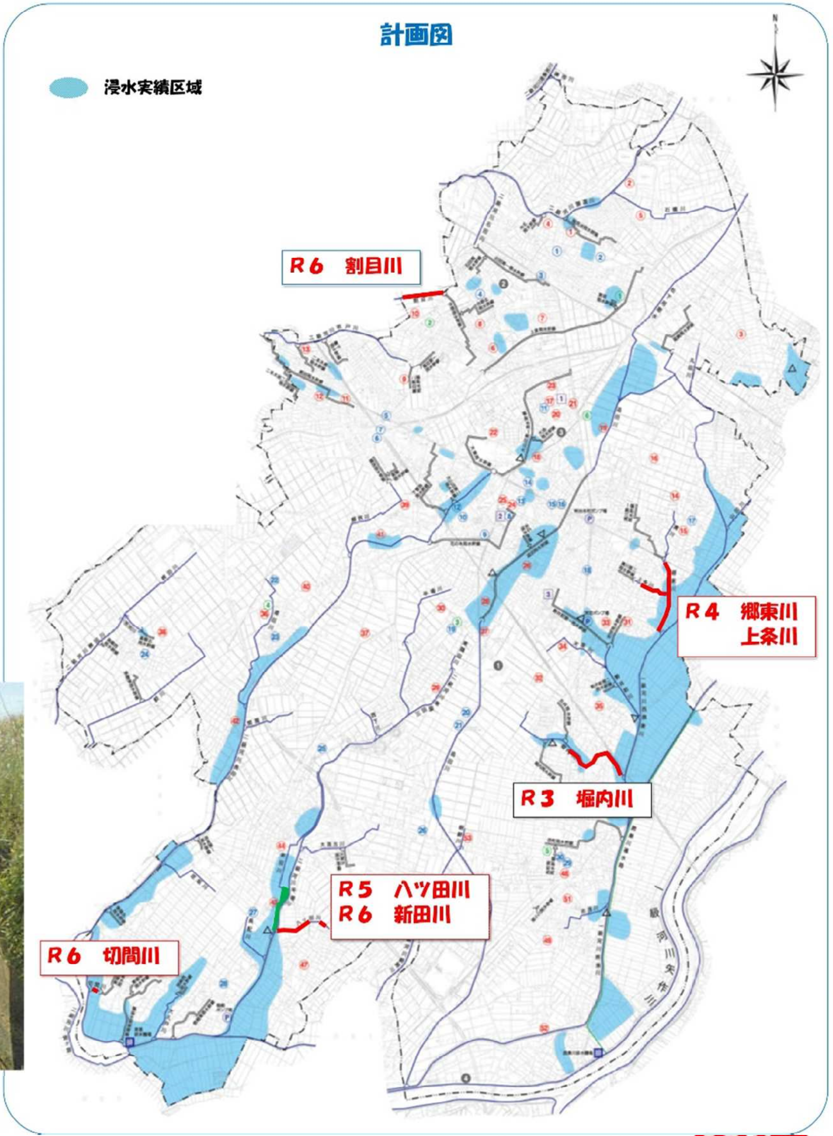
②抜本的な整備に着手できない準用河川の浚渫の強化（既存ストックの活用）

・令和３年度から令和６年度にかけて市内７つの準用河川で浚渫工事を実施。

→今後も計画的に実施する予定

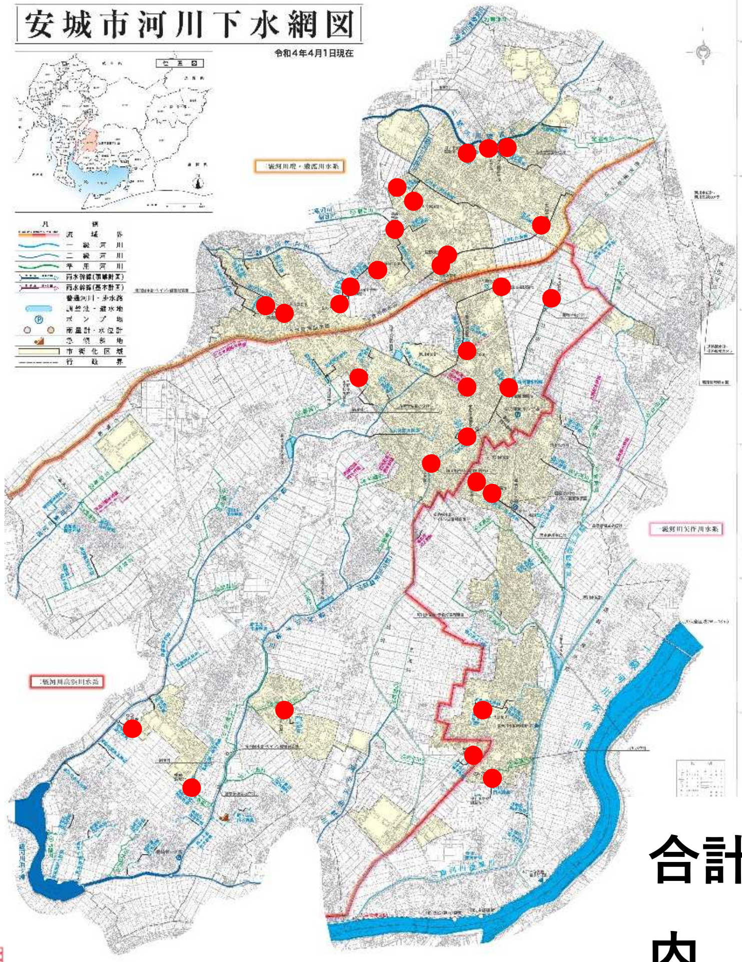
着手前

完了



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】
③下水道計画に位置付けられる調整池の継続的な整備



調整池施設一覧（安城市管理）

施設名称	容量（m３）	排水方式	竣工年度	施設名称	容量（m３）	排水方式	竣工年度
秋葉公園調整池	3,170	自然排水	平成13年度	三河安城小学校調整池	1,180	自然排水	平成13年度
安祥閣調整池	2,620	ポンプ排水	平成10年度	桜井2号調整池	8,444	自然排水	平成24年度
市民ギャラリー調整池	800	自然排水	平成15年度	明本公園調整池	5,000	ポンプ排水	平成28年度
桜井1号調整池	29,300	ポンプ排水	平成17年度	榎前調整池	5,124	ポンプ排水	平成30年度
桜井3号調整池	700	自然排水	平成25年度	柿田公園調整池	23,120	自然排水	平成11年度
桜井小学校調整池	1,400	自然排水	平成19年度	野池調整池	3,644	自然排水	平成21年度
細田公園調整池	1,200	自然排水	平成14年度	塔ノ下公園調整池	4,990	自然排水	平成10年度
追田川調整池	56,000	ポンプ排水	平成17年度	上倉調整池	16,100	ポンプ排水	平成8年度
和泉公園調整池	9,000	自然排水	平成28年度	大丸山公園調整池	10,980	自然排水	平成16年度
東端調整池	8,664	自然排水	平成17年度	横枕調整池	3,780	自然排水	平成13年度
根崎調整池	24,145	自然排水	平成17年度	今池調整池	600	自然排水	平成13年度
運動公園調整池	3,400	ポンプ排水	平成9年度	新段留調整池	7,920	自然排水	平成16年度
池浦調整池	2,500	自然排水	昭和63年度	作野公民館	520	自然排水	平成23年度
大池公園調整池	3,000	ポンプ排水	平成14年度	篠目公園調整池	6,540	自然排水	平成12年度
大池調整池	26,700	ポンプ排水	平成18年度	梨の里調整池	9,480	ポンプ排水	平成3年度
大東調整池	2,050	ポンプ排水	平成21年度	梨の里小学校調整池	1,210	自然排水	平成17年度
末広公園調整池	3,000	ポンプ排水	平成29年度	二本木調整池	8,040	ポンプ排水	平成9年度
下管池調整池	3,470	自然排水	平成9年度	二本木小学校調整池	4,120	ポンプ排水	平成27年度
正福田調整池	30,110	ポンプ排水	昭和63年度	池浦西公園調整池	1,000	自然排水	平成23年度

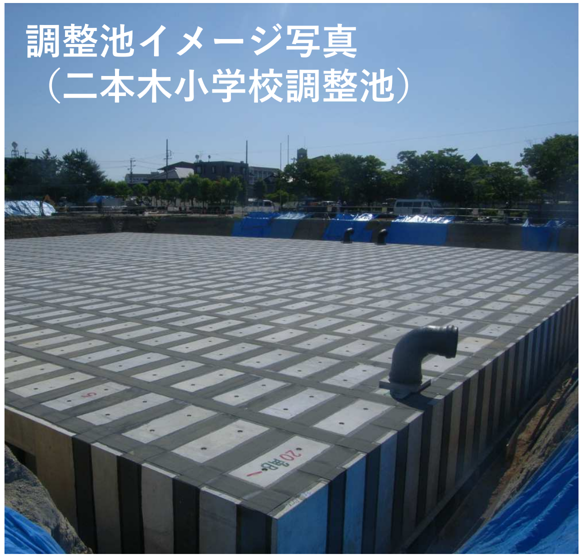
合計38施設（貯留量333,021m3）

内、27施設（着色部）をH12東海豪雨以降に整備

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】
③下水道計画に位置付けられる調整池の継続的な整備

・**現在は追田公園調整池の整備に向けて調整中。**



→今後、他の調整池の整備についても検討します。

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

④市民・事業者による雨水流出抑制施設の設置促進

雨水対策の実績（河川・下水道事業者以外）　令和２年度～令和６年度の累計

（令和６年度末時点）

施策項目	種別	事業主体	合計 数量	合計 対策量
雨水貯留施設の整備	調整池等	民間事業者	1　件	2,141.1　m3
		民間事業者（新規開発）	6　件	4,695.0　m3
	各戸貯留槽	市民	96　基	66　m3

※新規開発に伴う雨水貯留施設は、雨水流出抑制量の収支±0とみなすため参考

→今後も民間事業者・市民による雨水貯留施設の整備が促進されるようPR活動等に努めます。

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

⑤多大な保水機能を有する農地の保全と水田貯留の更なる推進

・水田貯留事業について、新規整備のほか、学校給食を通じて水田貯留の効果、農地の重要性についてPR活動を行いました。

水田貯留の整備面積及び貯留量				
年度	整備面積		対策量	
令和２年度	1.63	ha	816	㎥
令和３年度	22.17	ha	11,086	㎥
令和４年度	6.2	ha	3,097	㎥
令和５年度	29.07	ha	14,534	㎥
令和６年度	6.66	ha	3,329	㎥
合計（実績）	65.73	ha	32,862	㎥
令和７年度(予定)	32.6	ha	16,300	㎥
合計（予定）	98.33	ha	49,162	㎥

→今後とも継続予定

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

⑥新たな緑化（グリーンインフラ）による雨水流出抑制の推進

・民有地の緑化事業を推進（公園緑地課主体）

民有地の緑化面積及び対策量				
年度	整備面積		対策量	
令和２年度	717	㎡	0.72	㎥
令和３年度	0	㎡	0.00	㎥
令和４年度	1,386	㎡	1.39	㎥
令和５年度	683	㎡	0.68	㎥
令和６年度	759	㎡	0.76	㎥
令和７年度	－	㎡	－	㎥
合計	3,545	㎡	3.55	㎥

→今後とも継続予定

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

⑦“学び備える”施策の強化

・防災ナビにより、容易に防災情報を入手できるようになった。
・みずから守るプログラムを推進し、手作りハザードマップ作成（35地区）、大雨行動訓練（29地区）を行った。

安城市防災ナビ

みずから守るプログラムに基づく大雨行動訓練
（R7.7.6　榎前町内会）

→今後とも継続予定

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【課題に対する取組み状況】

⑧浸水リスクが高い「追田排水区」、「勢井前第一排水区」、「大山田第一排水区」における重点的な浸水対策の実施

・追田排水区について、浸水対策計画を策定中
・勢井前第一排水区について、浸水対策計画の策定を行う予定

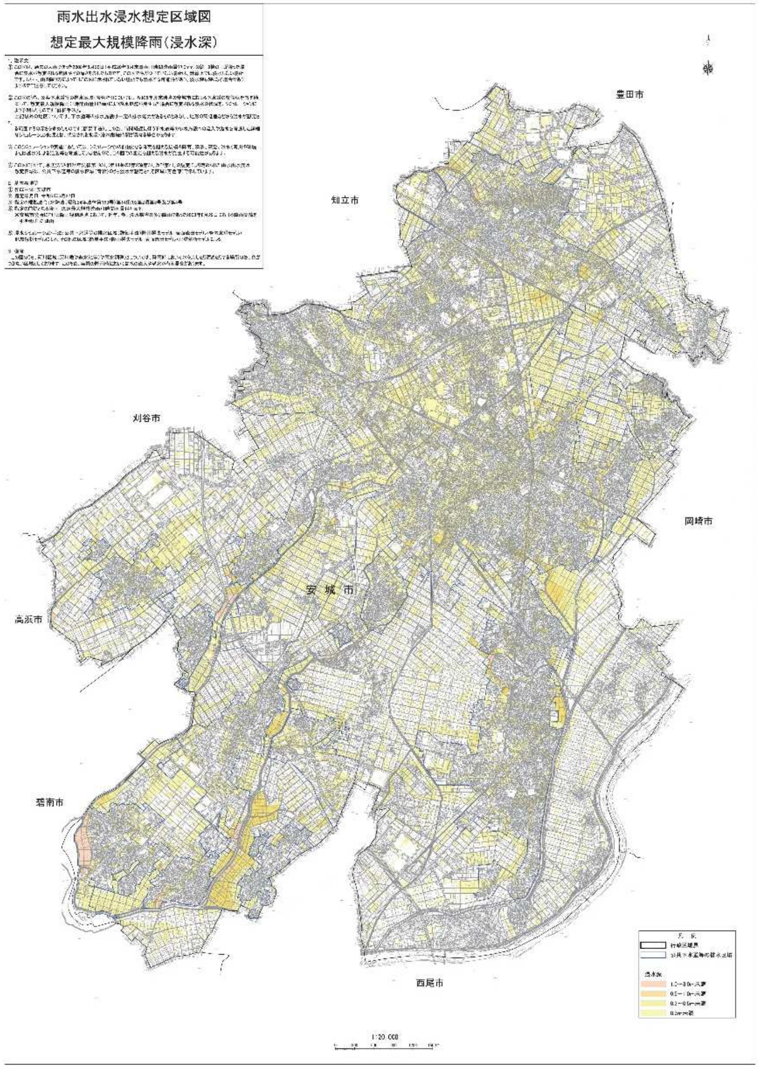
令和４年７月２７日豪雨時
（時間最大92mm/hr）による
勢井前第一排水区の浸水状況

→重点３排水区のうち、特に浸水リスクの高い「追田排水区」、「勢井前第一排水区」の整備を行います。

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

【その他の取組み内容】

・雨水出水浸水想定区域の指定及び公表

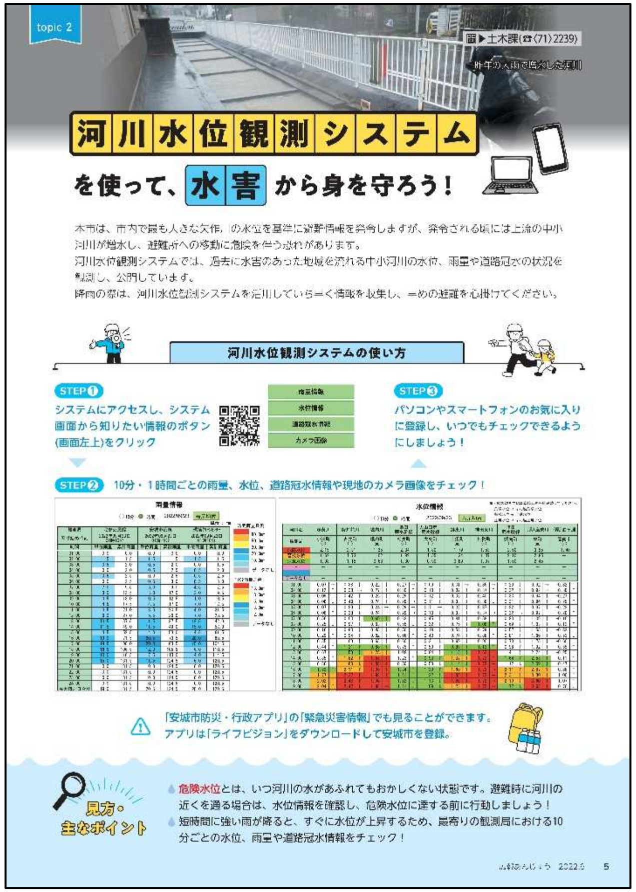


・雨水出水浸水想定区域図とは想定最大規模降雨（147mm/hr）で発生する内水氾濫により、浸水が想定される区域を示したもの。

※内水氾濫：
　降雨などによって、河川や水路の流量を超えて水があふれ出し、周囲の土地や住宅地に浸水する現象

【その他の取組み内容】

・広報あんじょうによる雨水対策事業のPR



安城市河川水位観測システムのPR（R5.7月号）

雨水出水浸水想定区域図
雨水貯留浸透施設設置事業のPR（R7.6月号）

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

安城市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

【その他の取組み内容】

・イベントでの雨水対策事業のPR

安城七夕まつりでの水田貯留事業PR
（R6.8.3～8.4　JAあいち中央駐車場ブースにて）

安城の日での雨水貯留施設設置補助事業PR
（R6.10.19～10.20　デンパークにて）

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

５章　計画の運用

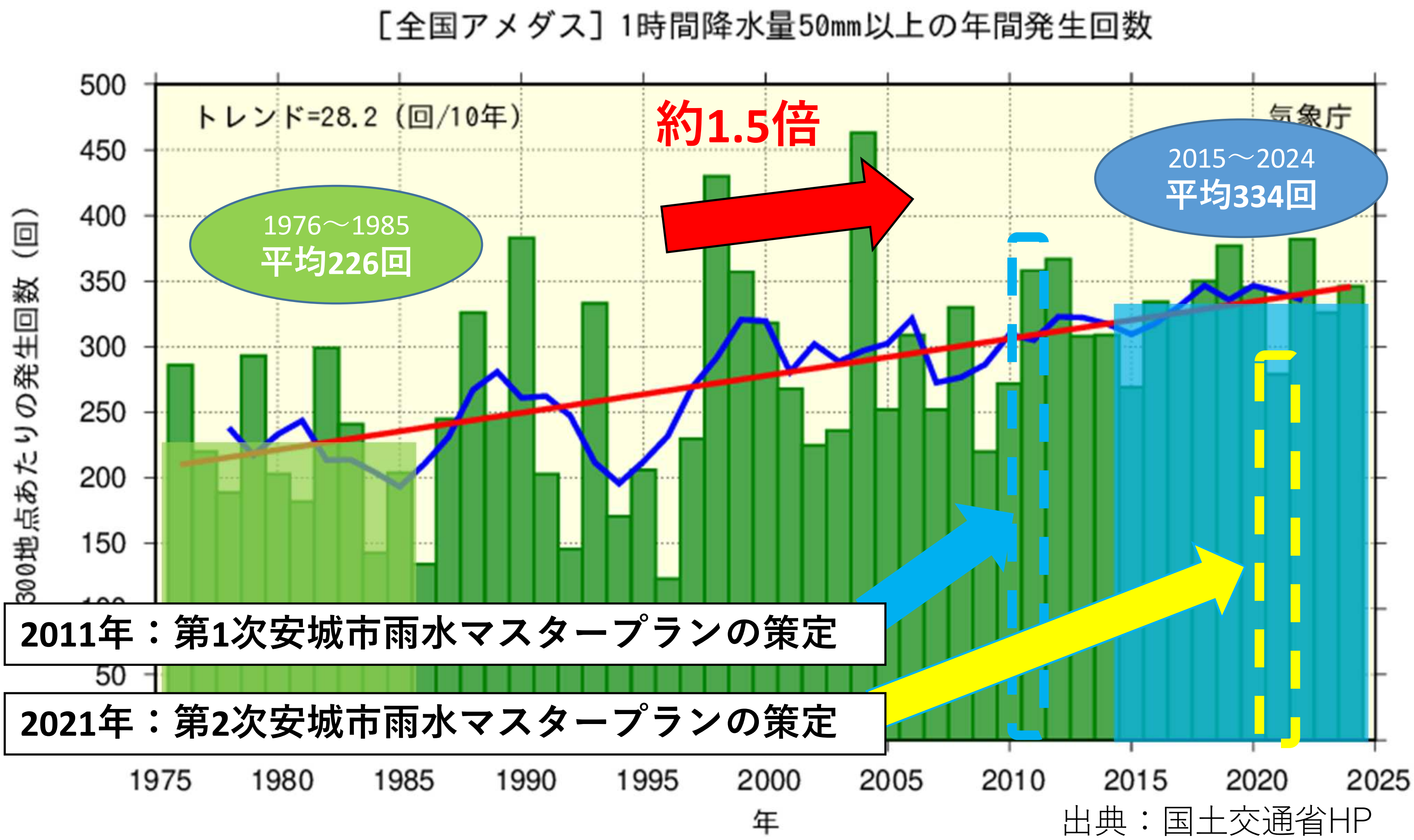
＜基本方針＞
- 毎年、施策の実施と進捗管理を行い、ホームページなどで公表
- 令和７年度に審議会を再度設置し、施策の進捗状況を踏まえた計画の中間評価
- 令和１２年度にも審議会を再度設置し、計画の最終評価と見直し

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

２．安城市雨水マスタープランの見直しについて

GOALS
を支援しています。

【近年の社会情勢の変化】　気候変動による降雨への影響



出典：国土交通省HP

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

2．安城市雨水マスタープランの見直しについて

GOALS
を支援しています。

【近年の社会情勢の変化】 気候変動による降雨への影響

雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）（国土交通省）
に基づく計画降雨量の変化

	変更前		変更後
重要３排水区 ・追　　田　排水区 ・勢井前第一排水区 ・大山田第一排水区	62mm/hr	1.1倍	68mm/hr
その他排水区	56mm/hr	1.1倍	62mm/hr

今後、気候変動を考慮した計画策定を行う必要がある

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

２．安城市雨水マスタープランの見直しについて

【近年の社会情勢の変化】 流域治水プロジェクト2.0の策定

矢作川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～日本の産業を支える「ものづくり拠点」を水害から守る流域治水対策～

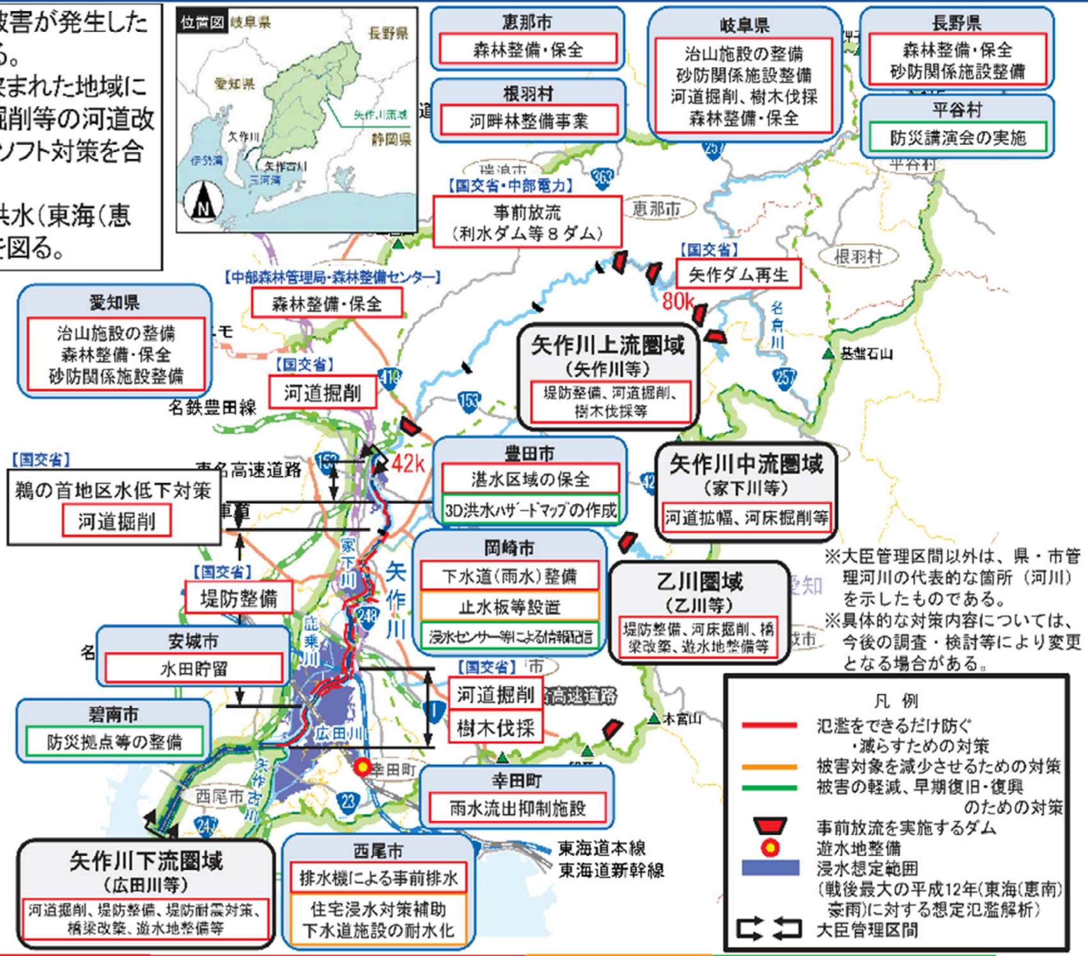
○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、矢作川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
○ 日本の産業を支える「ものづくり拠点」であるが、狭窄部や台地・山地に挟まれた地域に都市機能や産業が集積し、水害リスクが高い流域であることから、河道掘削等の河道改修や被害対象を減少させるための対策、広域防災ネットワーク構築等のソフト対策を合わせて実施し、浸水被害の軽減・早期復旧を図る。
○ これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大の平成12年9月洪水（東海（恵南）豪雨）と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・堤防整備、河道掘削、樹木伐採、橋梁改築、遊水地整備　等
  矢作ダム再生
- ・流出抑制対策
  （利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、愛知県、中部電力（株）など）、雨水流出抑制施設による貯留・浸透機能の拡充、下水道（雨水）整備、水田貯留、湛水区域の保全、森林整備・保全、治山施設の整備、砂防関係施設整備、河畔林整備　等）

●被害対象を減少させるための対策
- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
  （防災・減災のための住まい方や土地利用、土地利用規制・誘導、住宅浸水対策補助　等）
- ・浸水ハザードエリア等における浸水対策
  （止水板等設置工事費用補助、下水道施設の耐水化　等）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・早期復旧に備えた対策
  （防災拠点等の整備、広域防災ネットワークの構築、排水作業準備計画の検証）
- ・被害軽減対策
  （要配慮者施設避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、企業へのBCP作成セミナーの開催）
- ・住民の主体的な避難行動を促す取り組み
  （「みずから守るプログラム」の普及促進、防災講座、防災訓練、洪水プッシュ型情報配信、水害リスクライン配信、ハザードマップの周知、3D洪水ハザードマップの作成、住民の水害リスクに対する理解促進の取組、浸水センサー等による情報配信　等）
- ・ソフト対策のための整備
  （水害リスクの高い区間の監視体制の整備、水害リスク情報の空白域の解消、土砂災害リスク情報の現地表示、土砂災害警戒区域等の指定・周知　等）

●グリーンインフラの取り組み　詳細次ページ



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

2．安城市雨水マスタープランの見直しについて

GOALS
を支援しています。

【ハード対策の目標】

表　第２次安城市雨水マスタープランの段階的な雨水対策の目標①（ハード対策）

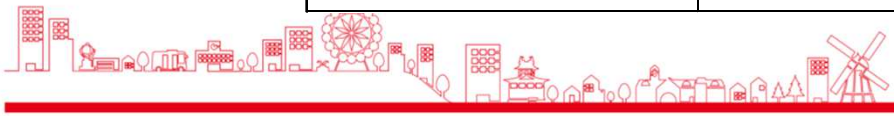
現目標

主体		雨水対策の内容	雨水流出抑制量（m³）	
			令和７年度まで	令和１２年度まで
行　政	河川事業者	河川整備計画に基づき、計画降雨に対する河川の整備を行う。	—	—
	下水道事業者	下水道計画に基づき、計画降雨に対する雨水管渠や調整池の整備を行う。	1，500	7，900
	その他	公共施設において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。	15，400	67，500
事業者		民間施設において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。		
市　民		私有地において雨水貯留浸透施設の整備やグリーンインフラの推進を行う。		

河川・下水道事業者による対策が追い付いていない

令和７年度末の進捗状況（見込み）

主体	施策	雨水流出抑制量(m3)			
		～R7			～R12
		目標	実績（見込み）	達成率	目標
行政 （河川・下水道事業者）	河川・下水道の整備 雨水貯留施設の整備	1,500	0	0%	7,900
行政（その他） 民間事業者 市民	雨水貯留施設の整備 グリーンインフラの推進 雨水貯留施設の整備	15,400	33,983	221%	67,500



ともに育み、未来をつくる　しあわせ共創都市 安城

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

2．安城市雨水マスタープランの見直しについて

GOALS
を支援しています。

【ソフト対策の達成状況】

現目標

表　第２次安城市雨水マスタープランの段階的な雨水対策の目標②（ソフト対策）

主体	雨水対策の内容	手作りハザードマップ作成地区数	
		令和７年度まで	令和１２年度まで
行政 ／ 市民	想定し得る最大規模の浸水想定区域（浸水深５０cm以上）において、手作りハザードマップの作成を行う。	４０地区	６３地区

計画通り進行中

令和７年度末の進捗状況（見込み）

主体	施策	手作りハザードマップ作成地区数（地区）			
		～R7			～R12
		目標	実績（見込み）	達成率	目標
行政 市民	防災対策の推進	40	40	100%	63

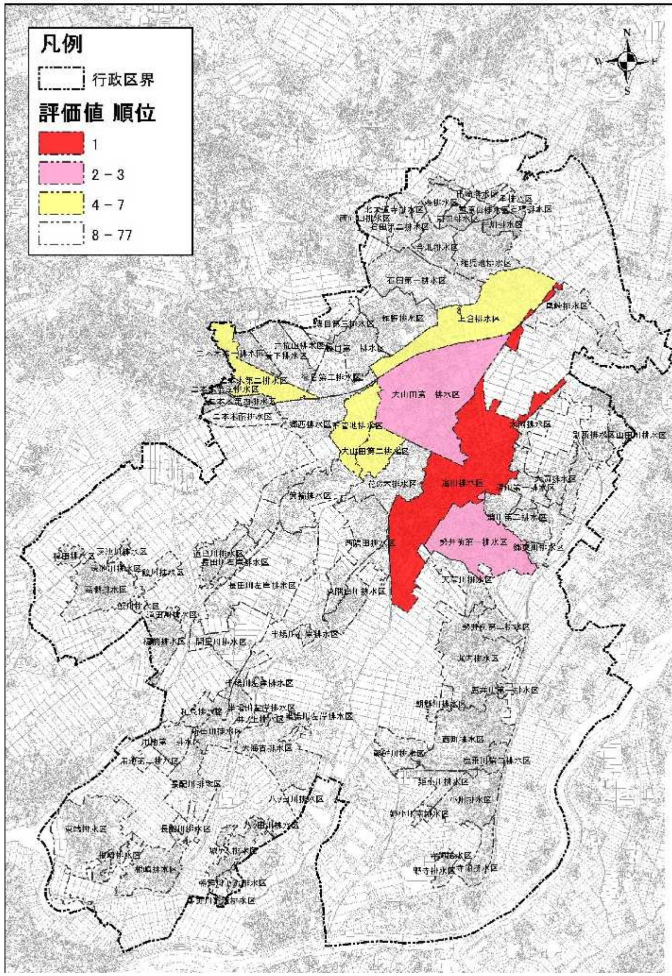
Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

２．安城市雨水マスタープランの見直しについて

【詳細シミュレーション結果に基づく整備優先度の見直し】

評価値	排水区	考察
43／300点	追田排水区	・評価値（浸水リスク）が全排水区の中で最も高い。 ・3 要素の割合は①58%、②9%、③33%で浸水実績の割合が最も高く、脆弱性も高い（都市機能が集積している）。 ・現在進めている区画整理事業に伴う雨水幹線の整備の他、調整池の整備、水田貯留等の浸水対策を継続的に検討する必要があると考えられる。
35／300点	勢井前第一排水区	・3 要素の割合は①79%、②0%、③21%で浸水実績の割合が最も高い。 ・これまで推進してきた調整池の整備や宮前ポンプ場増設後の能力を考慮すると、0.2m 以上の浸水想定はないが、脆弱性が比較的高い地区であるため、今後も浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。
23／300点	大山田第一排水区	・3 要素の割合は①35%、②9%、③56%で脆弱性の割合が最も高い。 ・これまで推進してきた調整池の整備により浸水想定の割合が低くなっているものと考えられるが、勢井前第一排水区と同様、脆弱性が高い地区であるため、今後も浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。
22／300点	下管池排水区	・3 要素の割合は①7%、②91%、③2%で浸水想定の割合が最も高い。 ・浸水シミュレーションの精度を高め、浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。
19／300点	上倉排水区	・3 要素の割合は①9%、②71%、③20%で浸水想定の割合が最も高い。 ・浸水シミュレーションの精度を高め、浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。
14／300点	二本木第二排水区	・3 要素の割合は、①77%、②8%、③15%で浸水実績の割合が最も高い。 ・現行プランの施策（隣接する市と共同した計画策定と事業の施行）で、二本木小学校調整池等を整備しており、これにより浸水想定の割合が低くなっているものと考えられるが、計画降雨を上回る豪雨による被害を軽減させるため、今後も浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。
12／300点	大山田第二排水区	・3 要素の割合は①7%、②91%、③3%で浸水想定の割合が最も高い。 ・浸水シミュレーションの精度を高め、浸水対策の必要性について検討する必要があると考えられる。

※リスク評価値：市域全体の浸水リスクを①災害の規模 100 点、②土地の浸水のしやすさ 100 点、③脆弱性 100 点、合計 300 点として評価



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

2．安城市雨水マスタープランの見直しについて

～見直しの視点～

■ 第２次安城市雨水マスタープランの中間評価

→課題に対する取組の状況と目標値の達成状況について

■ 今後の計画期間における雨水対策の目標達成の実現性

→中間評価の結果を踏まえた目標の再設定について

■ 近年の社会情勢の変化による影響

→気候変動などを踏まえた対策について

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

今後のスケジュール

項　目	実施予定時期	内　容
第１回 審議会	今回	現雨水マスタープランの内容及び改訂方針の説明
第２回 審議会	令和７年９月～１０月	雨水マスタープランの改定案の提示
ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄ	令和８年１月上旬～下旬	雨水マスタープランの改定案への意見募集
第３回 審議会	令和８年２月下旬	雨水マスタープランの改訂版の確認

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.